

ふみびと

第338号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

何気ない会話 そこにこそ

歳月を経ても

「アレなんだっけ」
歳を重ねるごとにそんな言葉が出るが多くなっているような気がする昨今。

昔は毎日のように通っていた道も、ちょっと建物が変わっただけでどっちだったかわからなくなることや、散々テレビで見た芸能人の名前がどれだけ頭を唸ってみても思い出せないことも。

そのくせ好きだった曲の歌詞は十年二十年と経っても自然と空で歌えるほど

ど覚えていたり、他愛もない会話やできごとは、いまだに鮮明に蒸し返してみせたりと、記憶というのは不思議なもの。

私や父の名前すら忘れてしまった亡き祖母が、昔のできごとをまるで昨日のここのようにはつきりと話していたことも、子どもながらに複雑に感じたものです。
ちなみに脳についてはまだわかっていないことは多いものの、必要な情報をちゃんと取り出せる

まだわかっていないことは多いものの、必要な情報をちゃんと取り出せる



ように「大事な情報」と認識したものだけを保管しておくそうです。

祖母は認知症で、人名前や家の場所などの細かい情報は残せなかったようですが、限られた記憶の中でしてくれた思い出話は、そんな大事なものだのだと思わせてくれます。

脳は覚えていたことを都合よく覚えてはくれないもので、また他愛の

夜空

冬の夜空を見上げると昔の記憶がよみがえる。学校から出された星空観察の課題のため、友達とともに夜空を見上げた記憶だ。いつもは家で過ごす夜に、子どもたちだけで近所の空き地に集まるのは、それだけでワクワクする出来事だった。手袋と帽子をしっかりとつけ、親から持たされた熱

気の中でも、ぶ厚いコートの上からくるまった毛布と、友達と交わしたクスクスとした笑いのおかげ

い飲み物の入った水筒を携え、私たちは夜空の下に座り込んだ。昼間よりも一層の冷たさを増した空に、後には星座が動くのを目の当たりにし、教科書に書いてあることは本当なのだと素直に感動した。寒い夜に空を見上げると、そんな思い出が心を温めてくれるのを実感するのだ。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送る方は簡単♪下の風船便切手宛に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだ



今年の目標

現在、毎年恒例「今年の目標（みんなの投稿冊子）」を募集しております！2月10日までに事務局へ届くようお送りください。2月15日頃に文通村ホームページ上で発表いたします。

次回発送日

※いつもの発送日と異なるので、ご注意ください。

2月の発送は9日（金）26日（月）の予定です。

送りたいお手紙がある場合はそれぞれ7日と22日までに事務局に到着することをお近くの郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。